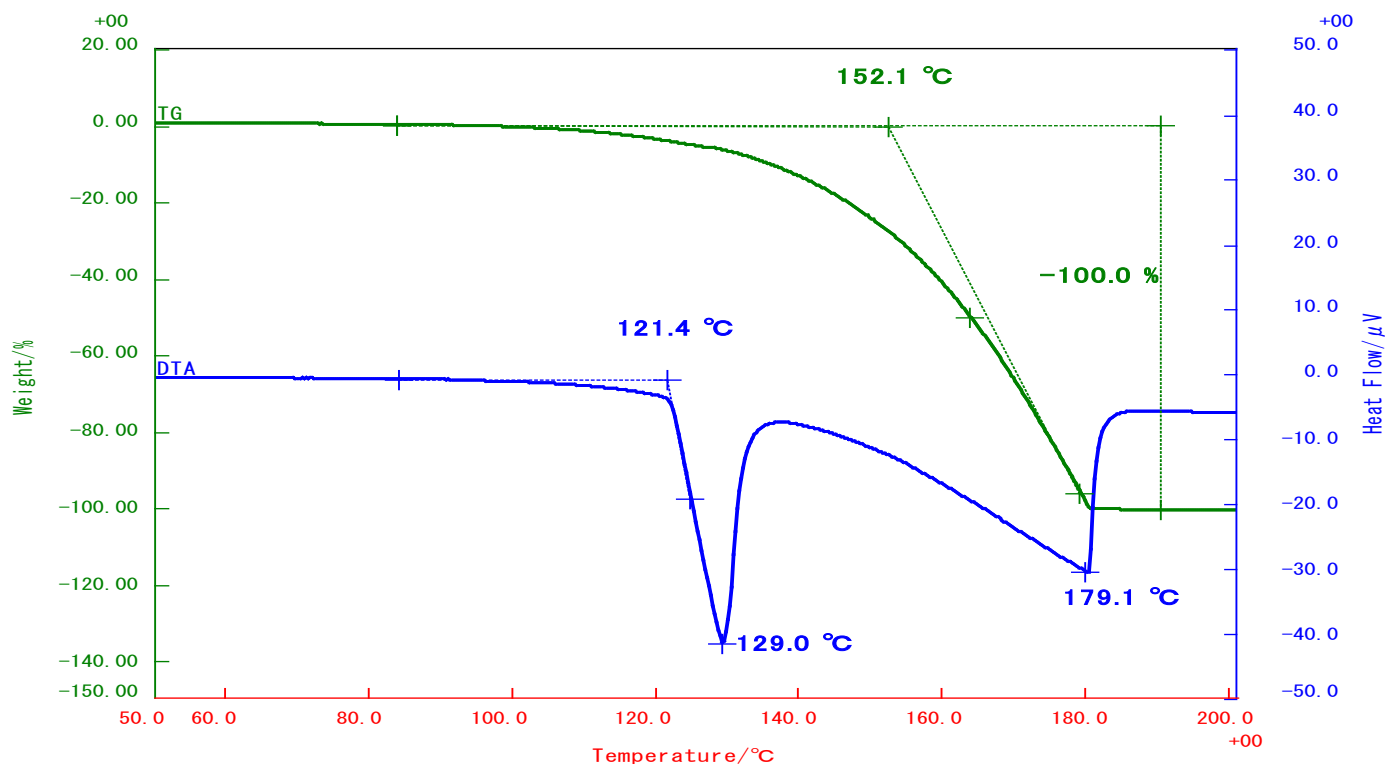


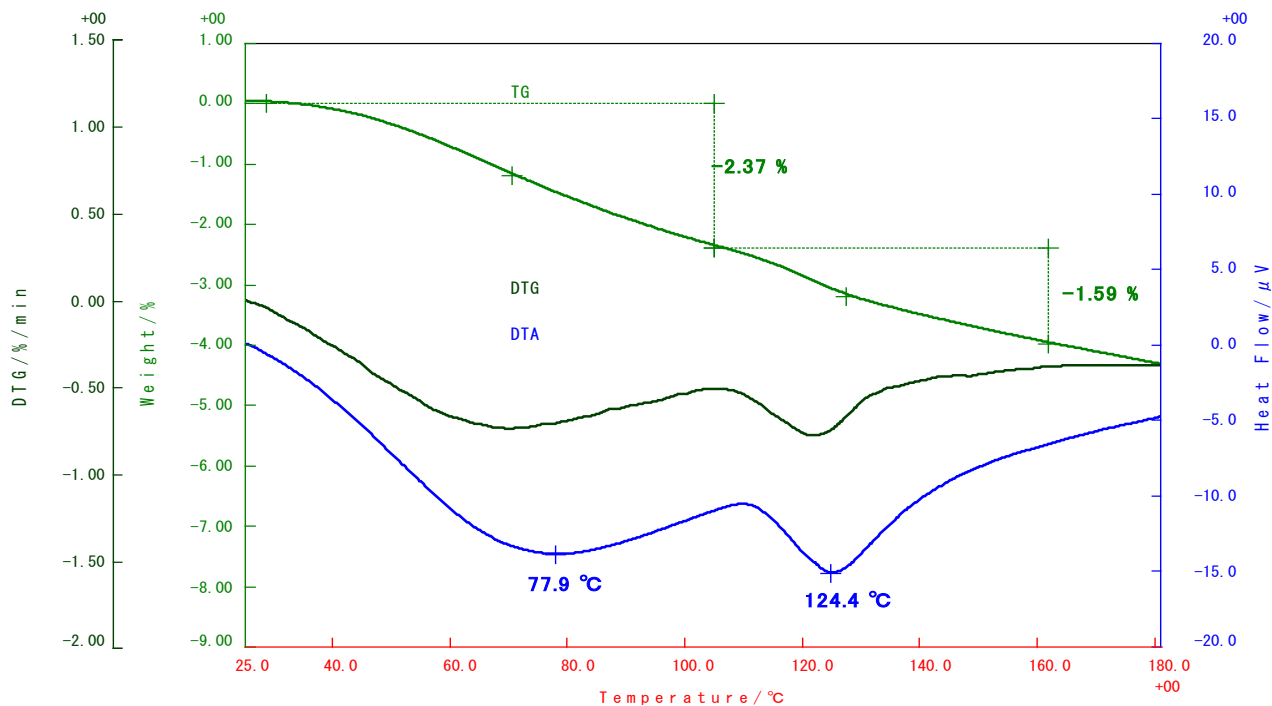
【 i 】 安息香酸の昇華・融解・蒸発



安息香酸のTG-DTA測定結果です。

121°C付近に安息香酸の融解による吸熱ピークが見られますが、それに先立って90°C付近から減量を伴う吸熱ピークが始まっています。これは安息香酸の昇華によるものであり、融解後には蒸発による減量を伴う吸熱ピークが見られます。このように安息香酸では、昇華、融解、蒸発が連続している起こることがわかります。

【 i i 】 アルミナ系粉末の脱水



アルミナ系粉末の TG-DTA 測定結果です。

水は結合状態によって脱水温度が異なります。この試料の測定結果では室温付近と 100℃ 付近の 2 つの温度域で、脱水による吸熱ピークを伴う減量が見られます。このことから、この粉末には結合状態の異なる 2 種類の水が含まれていることがわかります。